

## ホーチミン市の半導体産業強化と未来戦略

2025 年 2 月 25 日 作成

カテゴリ ベトナム経済 経済動向

### ホーチミン市の半導体産業強化と未来戦略

ベトナムのホーチミン市は 2030 年までの半導体産業発展戦略を策定し、電子・半導体産業の基盤強化と国内企業の成長を目指している。中小企業の中でも、Ito Vietnam は技術サービスから自動化生産ライン設計・製造へと転換し、東南アジアを代表する企業となった。2024 年にはスマート Bluetooth ディスプレイの自動組立ラインを開発し、生産性を 30 倍向上させた。現在、90%以上の米国・豪州・日本・欧州の企業が、輸入品ではなく Ito Vietnam 製の機器や部品を使用しており、国内企業の成長を支えている。

また、ホーチミン市は半導体エコシステムの構築を進め、設計・製造・組立・試験の各分野での技術力向上を図っている。特に、エンジニア育成が進み、国内で設計された自動化設備がグローバル市場に進出している。Ito Vietnam では、海外企業の技術者が研修を受けるほどの高い技術力を誇る。

市はさらに、産業革命 4.0 センター（C4IR）を活用し、国際的な専門家や大手企業との連携を強化している。この取り組みは、都市の競争力向上と国際投資の誘致を促進し、地域経済をけん引する役割を果たしている。

ホーチミン市は 2030 年までに、スマート都市と産業ハブを目指し、デジタル経済と半導体産業の中心地となることを掲げている。国内の半導体産業の強化は、国際市場での競争力向上に直結し、「Made in Vietnam」のブランド価値を高める戦略の一環である。

以上